

北口自治会の紹介

会長 金子清孝



北口自治会は和光市駅の北側で、武蔵野銀行の所より勝海医院の前の通り、妙蓮寺通りを北に進み、外環の側道を左折し、田中美容院の右の一方通行を朝霞方向（市道232号）に約500m進み、T路地を左折し、県道志木線を右折して100mほどの右側とバーデイゴルフ場の建物に沿って東上線の沿線までの内側が区域です。

自治会の歴史は古いのですが確実な設立年月日は不明です。70年位経過しているでしょう。当時は越戸地区（北原小学校辺り）と一緒でしたが年々戸数が増加したために、2分して北口と越戸自治会になりました。

現在の加入世帯は64世帯です。設立当時は子ども

も多く、餅つき大会等が開催されて賑やかでしたが、対象の児童が減少すると同時に娯楽の多様化が進み、個々に出掛ける時代になり、現在は行っていないません。

当自治会6つの班に分れて、各班の班長さんは役員として1年毎の当番制です。会の目的は地域住民の安全と福祉の増進及び生活環境の改善を図り、住み良いまちづくりを目指しています。市の北側の玄関という立地の為、会員の美意識も高く常に道路清掃等に努めています。行事としてはクリーンオブデーへの参加は基より、毎年北原小学校を借りて7月末に実施しています「北原夏祭り」は、北口、越戸自治会の合同開催ということで、会

員の多くの皆さんに手伝わってもらっています。祭りの中でヒーローショーが毎年行われて、子どもたちが大喜びをしています。来場者も年々増加傾向にあり大変良いことだと思えます。又、毎月第四金曜日夜、有志6・7人で自主防犯パトロールを自治会全域に実施しています。

北口自治会の区域は、昭和45年に都市計画決定がされ、数十年2階建て規制となり、15年程前から3階建てが建つようになりましたが現状は手つかずで、最高の住環境が維持されています。尚、北口自治会の約半分の面積は、北口土地区画整理事業が進行中ですが、整備後も住民総合自治活動を実施して住み良い街作りに努力する所存です。